



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所 東
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押見 正雄
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己 (TEL) 03-6418-7083
 四半期報告書提出予定日 2021年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,118	44.4	229	21.7	276	41.2	160	△16.2
2020年9月期第3四半期	1,466	14.3	188	△16.9	195	△15.2	191	21.4

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 183百万円(△3.0%) 2020年9月期第3四半期 189百万円(32.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	29.49	29.34
2020年9月期第3四半期	36.30	33.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	5,419	3,904	71.5
2020年9月期	5,236	3,681	69.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 3,876百万円 2020年9月期 3,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年9月期(予想)期末配当金の内訳 設立20周年記念配当 20円00銭

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	23.4	500	9.4	500	9.2	346	△7.2	64.72
	~3,200	~36.2	~580	~26.9	~580	~26.7	~402	~7.7	~74.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	5,569,150株	2020年9月期	5,518,350株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	121,315株	2020年9月期	121,315株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	5,435,547株	2020年9月期3Q	5,267,178株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるものの、企業収益や業況感は全体として改善しており、基調としては持ち直してきております。

当社グループを取り巻く事業環境については、国内ゲーム市場において、巣ごもりによる需要増加の影響もあり、スマートフォンゲームは堅調に推移しております。家庭用ゲームは、昨年末に発売された新型ゲーム機「PlayStation®5」の品薄状態が続いておりますが、今後のハード出荷数の増加や対応ソフトのラインアップ充実により、市場拡大が見込まれております。また、新型コロナウイルス感染症拡大対策として、イベント自粛やテレワーク実施が継続されており、業種によっては新規投資の先送りや縮小傾向が顕著になっております。

これらの状況下、当社グループは、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,118,034千円（前年同期比44.4%増）、営業利益229,305千円（前年同期比21.7%増）となりました。経常利益は、補助金収入等により276,567千円（前年同期比41.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にあった特別利益がなくなったことに加え、補助金収入に関連する固定資産の圧縮等により160,318千円（前年同期比16.2%減）となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」のライセンス売上は、スマホF2P向けが好調に推移したことに加え、第1四半期での一括契約締結も全体を押し上げ、増加いたしました。また、海外向けは、中国市場でCRIWAREの認知度が向上し大型タイトルへの採用が進むとともに、ゲームサウンドや音声収録などコンテンツ制作の受注も好調に推移し、引き続き大きく伸ばいたしました。株式会社ウェブテクノロジーは前年同期比微減、株式会社ツーフাইブはグループ各社との営業連携により中国向け案件の受注が増加いたしました。なお、株式会社アルフォース・エンターテインメントの損益計算書を前年第4四半期より新たに連結しております。当セグメントの売上高は1,620,236千円（前年同期比62.6%増）、セグメント利益は243,373千円（前年同期比31.3%増）となりました。

② エンタープライズ事業

組込み分野は、ネットワーク組込みシステムの継続受注、複数の車載案件の受注があったものの、前年同期にあった一括ライセンス売上がなくなったことや新型コロナウイルス感染症の影響でカラオケ関連の新規受注が延伸したこと等により、減少いたしました。新規分野は、公的機関からの動画向けソリューションの受注が伸ばしたことに加え、デジタル展示会プラットフォーム「CRI DXExpo（シーアールアイ ディーエックスエクスポ）」の売上が第1四半期に初計上され、増加いたしました。当セグメントの売上高は497,797千円（前年同期比5.9%増）、セグメント損失は14,068千円（前年同期は3,080千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて182,674千円増加し、5,419,386千円となりました。これは主に、「売掛金」の減少（前連結会計年度末に比べて129,452千円の減少）及び「投資有価証券」の減少（前連結会計年度末に比べて107,226千円の減少）があった一方、「現金及び預金」の増加（前連結会計年度末に比べて430,757千円の増加）によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて40,294千円減少し、1,515,216千円となりました。これは主に、「1年以内償還予定の転換社債型新株予約権付社債」の減少（前連結会計年度末に比べて1,019,900千円の減少）及び「買掛金」の減少（前連結会計年度末に比べて36,275千円の減少）があった一方、「転換社債型新株予約権付社債」の増加（前連結会計年度末に比べて1,000,000千円の増加）によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて222,969千円増加し、3,904,169千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による「資本金」及び「資本準備金」の増加（前連結会計年度末に比べてそれぞれ20,353千円の増加）並びに「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加（前連結会計年度末に比べて160,318千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想は、2020年11月12日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,343,210	3,773,968
売掛金	590,785	461,332
有価証券	101,269	100,000
商品	3,471	3,565
仕掛品	72,820	77,158
その他	94,903	112,031
貸倒引当金	△809	△440
流動資産合計	4,205,650	4,527,616
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,217	49,217
減価償却累計額	△18,276	△22,599
建物(純額)	30,940	26,617
工具、器具及び備品	78,063	81,776
減価償却累計額	△52,238	△59,422
工具、器具及び備品(純額)	25,824	22,353
有形固定資産合計	56,765	48,971
無形固定資産		
ソフトウェア	270,102	※ 247,571
のれん	27,159	22,170
その他	971	971
無形固定資産合計	298,233	270,713
投資その他の資産		
投資有価証券	470,433	363,207
繰延税金資産	60,979	67,837
その他	144,648	141,039
投資その他の資産合計	676,062	572,084
固定資産合計	1,031,061	891,770
資産合計	5,236,711	5,419,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,253	51,978
未払法人税等	32,690	54,589
賞与引当金	9,432	11,472
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	1,019,900	—
その他	225,068	220,603
流動負債合計	1,375,345	338,645
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	1,000,000
退職給付に係る負債	109,281	116,813
役員退職慰労引当金	70,885	59,757
固定負債合計	180,166	1,176,571
負債合計	1,555,511	1,515,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	758,426	778,780
資本剰余金	798,812	819,165
利益剰余金	2,282,830	2,443,148
自己株式	△167,943	△167,943
株主資本合計	3,672,125	3,873,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,205	5,420
為替換算調整勘定	△7,210	△1,909
その他の包括利益累計額合計	△11,416	3,510
新株予約権	12,157	11,313
非支配株主持分	8,334	16,195
純資産合計	3,681,200	3,904,169
負債純資産合計	5,236,711	5,419,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,466,701	2,118,034
売上原価	599,083	1,016,031
売上総利益	867,617	1,102,002
販売費及び一般管理費	679,222	872,697
営業利益	188,395	229,305
営業外収益		
受取利息	1,872	1,502
受取配当金	4,831	7,327
補助金収入	—	41,036
その他	2,387	3,262
営業外収益合計	9,092	53,129
営業外費用		
為替差損	1,661	—
社債発行費	—	5,821
その他	—	46
営業外費用合計	1,661	5,867
経常利益	195,826	276,567
特別利益		
負ののれん発生益	58,488	—
特別利益合計	58,488	—
特別損失		
固定資産圧縮損	—	30,971
減損損失	—	13,753
特別損失合計	—	44,725
税金等調整前四半期純利益	254,314	231,842
法人税、住民税及び事業税	69,390	71,657
法人税等調整額	△4,442	△6,871
法人税等合計	64,947	64,785
四半期純利益	189,367	167,056
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,835	6,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	191,202	160,318

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	189,367	167,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△434	9,625
為替換算調整勘定	124	6,423
その他の包括利益合計	△310	16,049
四半期包括利益	189,057	183,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,113	175,244
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,056	7,861

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束状況を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はございません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 補助金の受け入れにより、固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
ソフトウェア	一千円	30,971千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
減価償却費	49,664千円	86,106千円
のれんの償却額	4,434千円	4,988千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の普通株式への転換及び新株予約権の行使に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本金が271,008千円、資本準備金が271,008千円増加し、当第3四半期連結会計期間末の資本金は751,353千円、資本剰余金は791,738千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	996,558	470,143	1,466,701	1,466,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	996,558	470,143	1,466,701	1,466,701
セグメント利益	185,314	3,080	188,395	188,395

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、「ミドルウェア事業」の単一セグメントでありましたが、新たに連結子会社が加わったことから事業区分及び事業活動の実態を適切に表すとともに、事業内容を明瞭に表示する目的で、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「ゲーム事業」「エンタープライズ事業」に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

(重要な負ののれん発生益)

「ゲーム事業」において、当第3四半期連結累計期間より株式会社アールフォース・エンターテインメントの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれん発生益の58,488千円を計上しておりますが、当該金額は入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的に算定された金額です。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,620,236	497,797	2,118,034	2,118,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,620,236	497,797	2,118,034	2,118,034
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	243,373	△14,068	229,305	229,305

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	36円30銭	29円49銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	191,202	160,318
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	191,202	160,318
普通株式の期中平均株式数(株)	5,267,178	5,435,547
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	33円26銭	29円34銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	481,540	28,084
(うち転換社債(株))	382,277	—
(うち新株予約権(株))	99,263	28,084
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。